

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 バントーン・フューチャー・スクール中島校

公表日 2026年2月1日

利用児童数 54名

回収数 31

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1		1	机も大きく作業や活動がしやすいと思う。	限られたスペースの中で過ごしやすい環境を作っていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28		1	2	面談する時、段差がありますと毎回言われる。	初めての方や、気がずくに置く方がいる為、安全のためにも今後も声は掛け続けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27		1	3	先生のお子さんが大丈夫だったからうちの子も大丈夫だと言われる。あまり根拠のある説明がされない。	人により捉え方が異なるため、話の内容を確認しながら面談を行い、捉え方のズレがないよう努めていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			3	集団療育を日々の活動の中で行っている。	引き続き集団の中で様々な経験を積むことができるようにしていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28			3	保護者の気になっていることを理解し、計画に取り入れてくれる。	引き続き保護者と密に連絡を取り合い計画を作成していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1	1	4	今回、支援員さん、訪看さん、バントーンさんで情報交換ができたことにより、集団での目標や個別で伸ばしていく課題が見えてきました。本人も家族にとっても良い連携だと思いました。柔軟な対応をして頂きありがとうございました。	引き続き必要に応じて関係機関との連携を図っていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2		3	季節に合った活動や毎回新しい活動をし続けている。	引き続き季節に合った活動や様々な経験が出来るような活動内容を考えていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	11	11		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29		1	1	外部講師による保護者向けの講習会に参加し、自分を見直すいい機会になった。我が家の都合なのですが、（兄が車内に居る為）参観日に参加できないのが残念です。	引き続き保護者向けの研修会を定期的に行っていく。 普段の様子をHPやSNSに引き続き掲載していき普段の活動の様子を伝えていく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	1	1			

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30			1	モニタリングや日々の活動の後の説明やアドバイスをもらっている。	引き続き保護者の方とのコミュニケーションを大切にしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30		1		「お母さんも頑張っている」と声を掛けてもらいとても救われた気持ちになった。寄り添ってくれず、一方的な考えを言われることがある。	共感的に支援されていると感じてもらえるように対応していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	5	2	1	同じような境遇で子育てされているママさんとお話できる機会は貴重でとても楽しいです。 きょうだい向けのイベントはない。 保護者向けのランチ会を開催していたが、いろいろな悩みを参加者みんなでも共有できてとてもよかった。 ランチ会を平日に企画してくださったので参加することができました。ありがとうございます。	土曜日に行っていた、ランチ会や講演会を平日に開催するように調節していった。引き続きたくさんの方に参加してもらえるように開催日時を考え、交流の場を作っていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1	1		父親から相談の申し入れがあったときすぐに日程調整してくれ有難かった。	母親だけではなく、様々な家族から気軽に相談していただける環境を作っていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28			3	確認していないため分からない ホームページで日々の活動やイベントなどを発信してくれている。	おたよりやメールの確認が難しい方が一定数いるため、確認しやすいツールの導入を検討していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29		2		道路側で話をするので他の幼稚園や小学校の父母にあの人を見た、普通だと思っていたのにショックと言われたことがあり、あまり人目につきすぎるところでの話はさけたいところがある。 以前、知らない方の名前と連絡先が書いた紙が封筒に入っていたことがある。	事前に受け渡しの環境を伝え、抵抗がある方には後日個別対応していく。 数年前に封筒の使いまわしをしていたが、今は個人情報保護の観点から個人の封筒にしている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			2	避難訓練をしてくれていた。	毎年避難訓練や避難経路の確認を行っているが、実施しているか分からないという回答が見られるため、引き続きお便りやHP等で周知していく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28		1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	1	1	4	地震が起こった時適切に判断してくれ通所できることを説明してくれた。	引き続き事業所内で速やかに会議を行い、保護者に周知できるようにしていく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	4	1		何か行事があるときは特に楽しみにしている。普段お仕事体験がしんどいと言うことがある。	学校の後や週末がしんどいというお子さんがいる為、生活リズムにあった曜日への変更等も検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1			学校の先生とやりとりした記録が学校の先生が言われたことと違ったので、尋ねたらその後対応してくれず不快感をもった。	口頭での説明や付け加えによって意見の相違がうまれているため、迅速に関係者間で話をする場を設けたり、必要な方には会話の内容を文字に起こしたものを渡すようにしていく。